

重要取組シート

取組項目		大仙公園エリア・環濠エリアへの観光受入環境の整備
現状・課題		<ul style="list-style-type: none"> 策定中の堺観光戦略（案）では、大仙公園エリアと環濠エリアを重点エリアと位置付け、両エリアへの観光誘客や周辺への周遊促進に取り組むこととしている。 大仙公園エリアでは、3月に百舌鳥古墳群ビジターセンターや博物館がオープンし、大仙公園いこいの広場の飲食・物販施設については、新型コロナウイルス感染拡大の状況を見極めながら順次整備を進めている。 環濠エリアでは、4月に伝統産業会館がリニューアルし、さかい利晶の杜でも新技術を活用したガイダンス機能が運用され、また秋頃には大道筋での道路空間活用の実証実験を予定している。 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、エリアに集積する集客施設や市内宿泊施設の利用者数は減少していることから、当面は新型コロナウイルスの感染拡大防止を図りながら、両エリアへの誘客や周辺への周遊、長時間滞在などの取組を進める必要がある。
取組の内容		<ul style="list-style-type: none"> 大仙公園いこいの広場への飲食・物販施設を整備し、来訪者や市民が憩い、寛げる空間を創出する。 市内宿泊事業者等と連携した付加価値の高い宿泊体験メニュー造成・販売による長時間滞在の促進など環濠エリアの魅力を高めていくとともに、重点エリア間の周遊を促すため、次世代モビリティの導入を検討する。
スケジュール	前期 (～7月)	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> (9月) 大仙公園内でのガス気球の運行 <input type="checkbox"/> (9～10月) 大道筋での道路空間活用（オープンカフェ、次世代モビリティなど）の実証実験 <input type="checkbox"/> (10月) 新たな宿泊体験メニュー販売 <input type="checkbox"/> (10月) リニューアルした堺まつりの開催
	後期 (～3月)	
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 令和4年4月 大仙公園いこいの広場飲食・物販施設 オープン
進捗の状況	前期 (～7月)	
	中期 (～11月)	<input type="checkbox"/> ガス気球の運行に向けた基盤整備等工事開始(8月) <input type="checkbox"/> 大道筋での道路空間活用（オープンカフェ、次世代モビリティなど）の実証実験(11月)
	後期 (～3月)	<input type="checkbox"/> ガス気球に使用するヘリウムガスの調達に難しい状況が判明。他の調達手段の有無を検討(2月) <input type="checkbox"/> 堺ナイトマーケットの開催(3月)
	次年度以降	<input type="checkbox"/> 大仙公園いこいの広場飲食・物販施設 オープン(令和4年5月)

2025 堺市基本計画	該当する 施策	(1) 世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出 (2) 環濠エリア・堺旧港の魅力の創出 (3) 類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進	
	寄与する KPI	①大仙公園エリアへの来訪者数 [現状値：29.4万人(2019年度)] ②環濠エリアへの来訪者数 [現状値：182.6万人(2019年度)] ③延べ宿泊者数 [現状値：1,031,854人(2018年度)]	目標値(2025年度) ①60万人 ②300万人 ③140万人
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号 8	働きがいも 経済成長も
	寄与する KPI		目標値(2023年度)